

自己理解・他者理解は、生徒同士のグループワークを通じた体験的な理解の方が、より深い気づきを得られるケースがあります。
スムーズなグループワークの運営ができるような授業プランもご用意しています。

「興味・関心」からみたキミのタイプを使ったグループワーク

グループの作り方

1 ランダムに作る

⇒自分のタイプのコメントで自分にあてはまるなあとと思う点や経験をお互いに紹介する。

例：私は [P] パフォーマーと [S] サポーターの割合が高かったです。コメントにも、計画をたてたり管理したり、誰かから感謝されることにやりがいを感じるがありました。
経験で言えば、文化祭の時に、クラスで喫茶店をやった時、自分から会計担当を希望し、かかったお金と儲かったお金をきちんと管理しました。また、当日の会計の仕事はあまり忙しくなかったので、接客を担当する友人など他の係りのお手伝いをしましたが、誰かの役に立つことがうれしく感じました。



2 「興味・関心」からみた自分のタイプが同じタイプの人でグループを作る

⇒自分のコメントであてはまると思った点や経験をお互いに紹介する。
⇒グループとしての共通点を見つけて、そのキャッチフレーズを決めて全グループで発表する。

例：[D] ディレクターチーム
部活動で練習方法についてみんなで話し合う時には中心になっています、中学時代は生徒会の仕事をしていて、いろいろなイベントを運営してきました。ボランティアにも興味があります。⇒そんな私たちを表すキャッチフレーズは「話し合おう！ 実行しよう！」です。

例：[C] クリエイターチーム
文化祭では、ちらしやポスターを担当しました。いろいろな曲をダウンロードして編集するのが好きです。パソコンでいろいろな資料を作ります。英語のノートも、いろいろなイラストや色のペンでわかりやすく作ります。⇒そんな私たちを表すキャッチフレーズは「とにかく表現しよう！」です。

仕事カタログを使った「やりがい」についてのグループワーク

5人前後でグループを作ります

1 自分が興味を持った職種についてお互いに調べた仕事のおもしろさや、自分の「やりがいワード TOP20」の観点から興味を持ったやりがいを紹介しあいます。

例：私は販売職の仕事に興味を持ちました。私のやりがいワード TOP20 中に「いつも好きなものそばで働く」「自分の工夫が結果に活きる」というのがありました。仕事カタログの販売職の仕事は「お客様と会話して好みをつかみ好みにあいそうなものを探して勧める」「店に訪れたお客様が商品を買いやすいように工夫して売上を伸ばす」とあり、自分のやりがいに通じる仕事だと思いました。

例：私は施工管理の仕事に興味を持ちました。「複雑に連携したそれぞれの工事の順番や期間を考えて施工計画を考える」という点が私のやりがいの上位にあった「時間やスケジュールお管理を厳密に行う」「物事を関係者と共同で進める」という内容にあっていると思ったからです。

2 同じ職業や似たような職業分野に興味がある者同士でグループを作り、興味を持った点や仕事のおもしろさ、やりがいを紹介します。

例：私は営業（企業向け・既存顧客中心）に興味を持ちました。というのも「いつどの会社に訪問するのか自分でスケジュールを組み立てる」というのが私のやりがいの上位にある、「自分のペースで仕事を進められる」にあてはまるからです。

例：私も営業（企業向け・既存顧客中心）に興味を持ちましたが、理由は違います。「誠意をもって対応していくことで信頼関係が生まれて売上が伸びて行く」という仕事内容が、「お客様から信頼される」という私の上位にあるやりがいと同じだと考えたからです。

学問適性のグループワーク

5人前後でグループを作ります

1 自分が興味を持った学問についてお互いに調べたその学問のおもしろさを紹介しあいます。

例：私は社会学に興味を持ちました。アンケートを使ったり、インタビューをしてデータ分析から仮説を検証していくという学びにとっても興味があります。

2 大きくは理系・文系、もしくは12の学問分野で興味のある分野ごとにグループを作り、興味を持った点やその学びのおもしろさを紹介します。

例：私は法学部に興味を持ちました。授業の中で模擬裁判をするとありました。授業の中でやっているディベートなどに今興味もあるので、それをもっと深めていく学びをぜひやってみたいです。

その他のグループワーク

文化祭の係

文化祭という身近な例で、自分の興味・関心から見た仕事の好みを体験するワークです。

あらかじめ8つの役割を書いた紙を教室の壁・机などに貼ります。先生「みなさんは、文化祭の役割8つのうち1つを選ばなければなりません。やってみたい役割の場所に移動してください。」生徒が移動したら、集まった生徒同士でグループを作ります。先生「なぜその役割を選んだのか、どんな点が楽しそうか、やりがいを感じるか、といった点について意見交換しましょう。」次に8つの役割は、R-CAP for teens の8つのタイプと関係があると紹介します。(⇒表参照) 先生「R-CAPの結果も交えながら感想を交換しましょう。」

- P** パフォーマー (PERFORMER)
文化祭の準備を計画し、必要な備品の購入とチェックをする。
- D** ディレクター (DIRECTOR)
成功させるための企画を立て、メンバーの役割を考え仕切る。
- W** ウォッチャー (WATCHER)
地域・環境・歴史など社会問題に関する展示やイベントを担当する。
- S** サポーター (SUPPORTER)
出店でお客さんに販売したり、迷っている人に道案内をする。
- C** クリエイター (CREATOR)
門やメイン会場の飾りつけ、演出を行う。
- A** アナライザー (ANALYZER)
必要な予算を計算したり、当日の来場者数を予測する。
- E** エンジニア (ENGINEER)
舞台や屋台を工具などを使って作る。
- F** フィールダー (FIELDER)
クラス対抗競技、設営・片付けなどを積極的に行う。